

委員構成（敬称略）

柘植 誠子（短期大学准教授）、花田 純子（地元民生委員児童委員）
飯島 知明（地元中学校教頭）、三上 裕貴（地元中学校首席）、織 晃久（本校同窓会副会長）
大草 珠子（本校PTA会長）、伊藤 義孝（本校校長）、杉田 真規子（本校教頭）
美濃 秀政（本校教頭）、瀧澤 昭友（本校事務長）、佐々木 哉司（本校首席）、
札木 理（本校首席）

○日時：令和2年6月26日（金）

○実施方法：

資料、ご意見等回答文書を送付 （資料の内容をもって議決のご了承を依頼）	令和2年6月1日（月）
ご意見等回答	令和2年6月26日（金）
ご意見等への回答送付	令和2年7月30日（木）

（配付資料）

- （1）令和2年度学校経営計画
- （2）令和元年度進路状況（「令和2年3月卒業生 進路状況一覧」「卒業生進路推移」）
- （3）令和元年度生徒指導状況（「令和元年度 生徒指導状況」「各学年等の経年変化」）

○ご意見等の回答者（敬称略）

柘植 誠子、花田 純子、飯島 知明、三上 裕貴、織 晃久、大草 珠子

1. 議案

（1）令和2年度 学校経営計画について

【ご意見等】

・新型コロナウイルスの影響で授業が遅れているため、先生方のあせりや進め方、進み方で授業についてこれる生徒、ついてこれない生徒が出てくるのではと心配。授業内容が理解できているかの確認を行って頂きたい。先生に質問できる生徒もいれば、できない生徒もいるので何か対策をして頂きたい。

【回答】

新型コロナウイルス対応により、今年度については教育活動に様々な影響が出ており、1学期については期末考査のみの実施といたしました。6月の分散登校の時期から学習内容の確実な定着に向けて、授業の進捗については配慮しつつ、個々の理解度に伴う個別指導も重視しています。

【ご意見等】

・めざす学校像「2地域とともに歩む学校」の項目について…昨年、一昨年と島本高校で実施されたバスケットボール部の大会で、近隣の中学校も多く参加し、中学生にとっても良い記憶となっている。色々なことを通じ、高校と地域住民（中学生も）が交流できる場があることはありがたい。
・島本高校の保育専門コースだからこそ学べるという特別感を味わえる様、また保育を楽しめる様

な授業展開をしてほしい。

【回答】

昨年度より保育専門コースを選択する生徒が保育の5領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）を意識した学びを実施しています。一部新型コロナウイルス感染症のため変更はしていますが、例年通り実習や実技を生かした活動、40台の電子ピアノ完備による指導環境の充実及び高大接続を意識した授業などを進めています。

【ご意見等】

- ・地域連携については、スポーツクラブとの連携や地域でのイベント等においては地域をうまく巻き込みこんで、生徒たちが中心となり必要とされる存在になってほしい。
- ・保育専門コースの満足度が高いことは大変喜ばしいことである。授業展開等教員の熱心な取り組みの成果であると考え。今年度はコロナ禍により実習実施については課題となるであろうが、子どもと触れ合う機会は重要であるため、何かしらの手立てを講じていかなければいけないと感じる。

【回答】

2学期以降の実習・実技については、調べ学習によるレポート作成等の方法も活用しながら、感染症対策を充分に行ったうえで実施していきます。

【ご意見等】

- ・授業の満足度については、近年40%台が続いており、目標の70%以上にするためには、どの点に満足を感じないのか具体的に生徒の満足度を分析する必要があると感じる。

【回答】

令和元年度に設定した「島本スタンダード」（持ち帰れる授業・「気付き」のある授業・成功体験の多い授業）を各教科で確実に実施し、生徒参加型の授業を推進します。年2回授業公開週間等を設定し、各教科が「生徒の満足度」を分析するための授業研究を進めます。

【ご意見等】

- ・『本年度の取組内容及び自己評価』では、より具体的な取組計画・内容が記述されていて教員が生徒を指導しやすいと思う。全教員がこの『学校経営計画』を熟読し、理解して指導する事が重要。

(2) 令和元年度 進路状況について

【ご意見等】

- ・就職する生徒の中には進学したくてもできないために、就職を選択する生徒もいる。進学するための支援の方法はないのでしょうか。

【回答】

進学への支援としては、進学に向けた説明会等で奨学金制度についても周知を図るなど個別に相談を進めております。また、各大学や公的機関の支援も紹介しながら進めています。

【ご意見等】

- ・就職の割合が近年増加していることには驚いている。保育専門コースがあるのは中学生の進路先として助かります。
- ・保育専門コースがあるので、もう少し保育系の大学への進学があればと思います。就職者の割合が多いので早い段階から就職に対応していく必要がある。

【回答】

保育専門コースでは、1年時にコース紹介を行い説明しています。最終的には本人の希望を尊重していますので、すべてが大学へ進学することには至りません。しかし、多くの大学とは協力しながら進めていますので、希望すればしっかり支援いたします。

【ご意見等】

- ・教員の指導力により未内定者数が減少してきていると思われるが、未内定者の卒業後の追跡調査はされているのか。その他の理由を除き、未内定者を出さないことも必要であると感じる。
- ・生徒個人の進路は、将来どんな仕事をしたいかという生徒個人の希望、生徒個人の能力によって決定されるものであるから教員はその補助をするのが良いと思う。

(3) 令和元年度 生徒指導状況について

【ご意見等】

- ・社会に出て恥ずかしくない言葉遣いの指導、授業中の居眠りは必ず「起こす」指導をお願いしたい。

【回答】

授業開始時の授業規律（挨拶、机上整理等）や職員室への入退室時の言葉遣い指導など、校内の様々な場面で実施しています。また、居眠りに対してはまず声をかけ、授業展開の工夫により生徒が主体的に参加することのできる授業を実施していきます。

【ご意見等】

- ・（中学校での）進路決定の際に保護者や生徒から聞かれることとして「中退」や「留年」についての心配が多い。令和元年度の中退者7.1%など、どのような対策が必要かを一緒に考えていきたい。
- ・成績不振での中退者が多くなったのは残念です。授業が少しでも理解できる様、興味の持てる授業づくり、みんなが参加できる様な授業づくりをしてほしい。

【回答】

成績不振による「中退」や「原級留置」に対しては、成績不振科目を抱えないようにするための魅力ある授業づくりと、授業規律を守りつつ学年末までの個別対応を重視した学習指導を進めてまいります。

【ご意見等】

- ・生徒指導については、教職員一丸となってお尽力いただいております、その効果が結果に反映されていると考える。繰り返し諦めない個別指導が必要であると感じる。
 - ・装飾品・頭髪は指導することによって、改善がみられる。授業遅刻はあまり成果が出ていない。
- 授業担当の教員はチャイムが鳴る前に教室に行き、教室のドアから廊下に出て早く入るように指示する。授業のない教員はいろんな場所に立ち、早く教室に戻るよう指示するなど、習慣になるまで毎日続ける。指示に従わない生徒には対応を考え、共通理解しておく。登校遅刻は、私が教員をしている時に何回か遅刻生徒に聞いたことがある。やはり昼夜逆転の生活をしている〔ゲームを午前2時頃までしている。遅刻生徒は話さないが夜のバイトをしているなど〕。学業が中心の生活、朝6時に起きて、夜は10時に寝る習慣をつけなければ学校遅刻は減少しないと思う。今回、新型コロナウイルス感染症問題で約3ヶ月休校のため、昼夜逆転の生活をしている生徒が多くいると思われる。自分の意志で、昼夜逆転生活を改善できる生徒は良いが、自分だけでは改善できない生徒も多く出てくると思われる。何らかの対策を考えておくべきである。

【回答】

「授業遅刻」については授業規律を確保することが、授業環境を整えるための重要な指導事項と位置付けており、ご提案頂いたような指導について粘り強く取組んでおります。また、学校生活へのリズムが整えられるよう、朝のSHR（朝礼）を実施し体調等を確認しています。体調等の不調については保護者とも連携し対策を進めています。

(4) その他

①オンライン授業について

【ご意見等】

- ・機器の所持、Wi-Fi 環境等の課題があるため、オンライン授業のみでなく対面授業と併用するのが望ましい。大阪成蹊大学、短期大学では Google Classroom を活用した遠隔授業と一部対面授業を実施している。遠隔授業は、「同時双方型(リアルタイム授業)」、「オンデマンド型」、「教材・課題配布型」やその他混合型があり、各教員が選択している。同時双方型では Meet、Zoom を法人契約し、無制限で使用できる環境が整えられている。また対面授業は、大阪府の緩和状況に合わせて6月2日からどうしても対面でないとできない実技系の授業(幼児教育学科では器楽(ピアノ)、体育等)で本格的に実施し始めている。本学は70%がスマホでの受講のため、小さい画面での受講は限界があり、教員とも画面でのやり取りのため、個々の理解度が把握しにくい現状がある。
- ・中学校では後の成績評価が可能となる家庭学習教材プリントの開発と、それに連動した動画の作成・配信を実施。双方向のオンラインは未着手。
- ・中学校では、タブレット一人1台を令和2年度中に配置予定。新型コロナウイルスによる休業中の動画作成には、スキル面で多くの教員が苦勞する現状があった。(教育委員会や文科省レベルからの) 教員へのスキル指導が必要。
- ・オンライン授業は不登校の生徒には有効だと思うので、何らかの形で活用してほしい。ケーブルTVなどをうまく活用できないだろうか。TVならほとんどの人が家にあるので利用しやすい。

②新型コロナウイルス感染症に関しての本校の取組みについて

【ご意見等】

- ・生活リズムを保つ対策がより必要。

③新型コロナウイルス感染症に関して、各団体等での取組みの好事例について

【ご意見等】

- ・中学校では課題配付の際に、距離をとること、マスク着用がないと教室には入れない、消毒など生徒の登校までに意識づけをしっかりとやりたい。
- ・大阪成蹊大学、短期大学では、対面授業や登校時は3密を避け、マスクの着用、登校時の検温の実施(赤外線体温測定カメラによる)、分散的な授業設定、教員フェイスガード着用、教卓アクリルガード設置等の配慮をしている。

【回答】

中学校や大学等での状況をお伝えいただきありがとうございました。大阪府立学校ではオンライン授業の本格的な実施体制構築の一助として「G Suite for Education」の導入をいたしました。本校でも対応しています。また、生徒の通信環境や端末の保有状況なども確認しながら現在試行を終

了しています。

④自由記述

- ・地域がもっと協力し合い、参加しあい、島本高等学校が中学生にとって受け入れ先として今後もあり続けるためにつながっていきたい。

⑤その他

令和3年度教科書選定について

- ・現在選定作業を進めています。第2回学校運営協議会では決定した教科書をご覧頂きます。

次回の学校運営協議会の予定 令和2年11月予定